

広島市植物公園 見どころ案内

2025 年 3 月 10 日
通巻第 652 号



展示会のご案内

①展示資料館 (3/8~4/10)

「草木染の世界」展

②展示温室

ゼラニウム展 (3/8~4/13)

ミチノクフクジュソウ (キンポウゲ科)

フクジュソウ (福寿草) は新春を祝う花として知られており、幸福と長寿の象徴とされています。広島県に自生するのはミチノクフクジュソウです。

ゲンカイツツジ

(ツツジ科)

早咲きのツツジが咲き始めました。葉が展開する前に咲くピンクの花は桜に負けない美しさです。

セツブンソウ

変わり葉 ゼラニウム

(フウロソウ科)

(公社) 日本植物園協会のナショナルコレクションに認定された貴重なコレクションです。

リンカトリアンセ ‘ヤンミンオレンジ’

(ラン科)

属間で交配され作出された美しいランの一つです。

★大温室で見頃の花・果実

ラン各種、ヘリコニア、ツンベルギア、ペニバトケイソウ、オオベニゴウカン、ポインセチア、メディナ スコルテキニー、オオバナソシンカ、ルリハナガサ、パボニア クレヒリー、ゴールドエンチェーンツリー [タコノキ、ゴレンシ、バナナ、パパイア、ココヤシ、カブダチクジャクヤシ、ソーセージノキ、コーヒーノキ (以上は果実)] 等

パンジー

ウメ ‘八重寒紅’ (バラ科)

今年は梅の開花が遅れており、早咲きの品種がようやく見頃を迎えました。

モウジキンカチャ

(ツバキ科)

1965 年に発見され「幻の黄色い椿」と呼ばれた金花茶は、1980 年代に日本に導入されました。その仲間はまだ普及していない貴重な種。

ハナナ ‘京都伏見寒咲’

(アブラナ科)

特に早咲きで年によっては 12 月から開花しますが、この冬の寒さでまだ咲き始めです。

ハヤザキマンサク

(マンサク科)

北米原産のマンサク。東アジア産のマンサクと同時に見頃を迎えています。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

欧米諸国で冬咲きのクリスマスローズと区別してレンテンローズと呼ばれることが多いですが、日本ではクリスマスローズの名で流通しています。今が見頃です。

＊ 毎週土・日曜日・祝日 午後 1 時半～3 時 20 分は、ガイドボランティアが園内を案内します＊
＊ 3/25、4/13 午前 11 時～は、職員による植物うんちく語りを開催します＊